

林業福島

No. **626**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

10 2016

監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 引き合い



もり これからもふくしまの森林と生きる

一般社団法人 福島県造園建設業協会
会長 諸井道雄

毎年、全国植樹祭と同様に全国都市緑化フェアが開催されます。このフェアは、国民一人一人が緑の大切さを認識し、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業として、全国各地で開催される花と緑の祭典です。平成二八年度は、来年三月二十五日から「Garden Necklace YOKOHAMA 2017」花や緑が「ネックレス」のように、まち、人、時をつなぎ美しい横浜をつくります。

街中の緑も、森林の緑も清らかな空気や水をつくり、土を豊かにし、安らかな暮らしを届けてくれます。森林や里山もそうでした。季節ごとに自然は循環し、人と野生動物・野生植物との共生ができていました。大地にしっかりと根を下ろす森林は、水を蓄える天然のダムとして暮らしを守ってくれます。

ところが、近年、あちこちで里山が宅地造成地と化し、人と自然の循環がうまくなされなくなってきたところに加え福島県では、原発事故。当初、国では、生活圏外の森林は除染しないという方針でしたが、現在は、里山再生モデル事業として具体的な除染の取り組みが決まりました。が、古から森林や里山の恵みにより、私たちの暮らしを支えられていることを考えると、モデル事業にとどまらず除染効果を検証しながらも、日常的に住民が立ち入る里山をすべからず除染し、再び森林と共生し活用していきたいものです。

福島県には「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」があります。憲章の一番目には「森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます」と記してあり、具体的な取り組みも記載されています。県土の七割が森林という豊かな地形をもつ福島県には、こんなにも素晴らしい森林文化が明文化されています。私たちには、これからも「あらゆるいのち」を尊ぶため、この憲章を共通認識として後世に引き継いでいく責務があります。我々造園業者も森林除染への協力は惜しみません。

現在の福島は、「福が満開ふくのしま」と、残念ですが、まだまだカタカナで表示される「フクシマ」の二つの顔があります。そんな福島から「みどりの命」の大切さを世界に向けて発信していく「第六九回全国植樹祭」——ただてよう 希望の森を——の意義の深さを改めて感じるところであります。

そして、機会がありましたら是非全国都市緑化フェアへも足をお運びください。暮らしの中にこんな素敵なネットワークがあることを発見できるかも知れません。

《も く じ》

とびら	
「これからもふくしまの森林と生きる」	
一般社団法人 福島県造園建設業協会	
会長 諸井道雄	1
平成29年度福島県予算編成に対する要望聴取会	2
福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）	
構想の実現に向けた取組	3
「企業の森林づくり」業務運営と「くみずほ」の	
森プロジェクト」ボランティア活動	4

東北・北海道ブロック林業グループコンクール	5
福島県林業労働力確保支援センターだより	6
全国植樹祭コーナー	7
普及指導員通信	8
森林管理署メモ	9
木連だより	10
「自然に親しむ」	11
木材市況・ふくしま東西南北	12
はなしのひろば・お知らせコーナー	13

平成二九年度 福島県予算編成に対する要望聴取会

福島県林業会議

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に設立し、林業関係十団体で構成されています。

九月九日、平成二九年度福島県予算編成に対する福島県議会各会派による要望聴取会が開催され、当会議では、「森林・林業の再生なくして福島県の復興はない。」との強い思いから、復興の加速化を図り、森林を



要望聴取会（自由民主党福島県議会議員会）

将来の世代に健全な姿で引き継いでいけるよう、次に掲げる事項を要望しました。

一 県民総参加による第六九回全国植樹祭の推進

- (一) 緑の少年団、森林ボランティア団体等の緑化活動への支援を強化
- (二) 多様な主体による森林づくり活動への参画を促進

二 森林除染の推進

- (一) 里山再生モデル事業の促進と、その成果の県内全域への拡大
- (二) 環境放射線モニタリングの継続

三 林業担い手の確保・育成

- (一) 林業に関する相談窓口の強化と、林業大学校等の開設
- (二) 林業従事者の資格取得の支援や、労働環境の改善策を拡充
- (三) 林業担い手団体の活動を支援
- (四) 林業事業体等が行う雇用管理の改善の取組を支援

四 森林整備の促進

- (一) ふくしま森林再生事業の継続
- (二) 優良な苗木の確保と安定的な供給を支援
- (三) 皆伐・再造林への支援を強化
- (四) 広葉樹の再生を促進
- (五) 野生鳥獣による森林被害を防止するための対策を推進

五 県産材の供給体制の整備

- (一) 県産材の放射性物質対策への支援
- (二) 林道や森林内作業道等の整備を促進
- (三) 高性能林業機械の導入を支援

六 県産材の需要拡大

- (一) 森林認証に関し、県有林や公社造林地での取得と林業事業体への支援
- (二) CLT製造施設の県内建設と部材の需要拡大
- (三) 木質バイオマス資源の有効活用と加工・流通体制の整備を支援

七 産振興

- (一) 安全・安心な原木しいたけ生産の取組を支援
- (二) 公共建築物の木造化・木質化を促進
- (三) きこの類の生産振興



福島県議会民進党・県民連合議員団



日本共産党福島県議会議員団



公明党福島県議会議員団

八 海岸防災林の再生

- (一) 事業の平準化
- (二) 抵抗性品種（種子）の確保と供給
- (三) 地域住民や森林づくり活動団体等の参画を支援

九 治山施設の整備

- (一) 崩壊土砂流出危険地区等での防災・減災対策の推進
- (二) 小規模な山地災害等箇所での早急な復旧を推進
- (三) インフラ長寿命化対策への取組

福島県議会各会派からは、「要望事項はしっかりと受け止めた。実現できよう努力する。」と力強い回答をいただきました。

「企業の森林づくり」業務運営と

「みずほ」の森プロジェクト「ボランティア活動

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

「企業の森林づくり」業務はこれまで県が直接行っていましたが、平成二八年度は当協会が県の「カーボン・オフセット森森（もりもり）元気事業運営業務」（以下、「森森元気事業」という。）として委託を受け、担当することになりました。

企業の森林づくりとは、近年企業の社会的責任（CSR）に対する関心が高まり、環境保全活動等に取組む企業や団体等が増加していることから、社会貢献活動に関心の高い企業や団体の皆様にも森林づくり活動に参画していただくため、森林環境税を活用して県が企業等に対して支援を行う事業です。

当協会は、平成二八年度森森元気事業の受託者として、平成二八年八月二〇日（土）、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下、「みずほフィナンシャル」という。）が、いわき市平下大越字南横手二二六番地に

企業の森林づくり協定締結一覧

No.	企業等名	協定締結者	協定締結年月日	協定期間	面積 (ha)	活動場所・内容
1	株東邦銀行	須賀川市 福島県知事	21. 6. 5	21. 6. 5～ 24. 3. 31	2.04	未来博記念公園 森林整備
2	株東邦銀行	喜多方市 福島県知事	21.10. 8	21.10. 8～ 24. 3. 31	1.14	松山森林公園 広葉樹の植栽
3	株東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県知事	22. 8. 25	22. 8. 25～ 27. 3. 31	4.20	福島市佐原地区 森林整備
4	社福島県トラック協会	下郷町中山区 下郷町 福島県農林水産部長	22.11. 6	22.11. 6～ 31. 3. 31	1.20	下郷町中山区 広葉樹の植栽、下刈り等
5	イオンリテール(株) マックスバリュ-南東北(株) イオンスーパーセンター(株)	鮎ふくしまフォレスト・ エコ・ライフ財団 福島県知事	23. 1. 31	23. 1. 31～ 28. 1. 31	8.16	ふくしま県民の森 森林整備
6	機ディーエイチシー	猪苗代町 福島県知事	24. 9. 7	24. 9. 7～ 26. 1. 28	7.60	びわ沢原森林公園 広葉樹の植栽等
7	株東邦銀行	北塩原村 福島県知事	24. 9. 7	24. 9. 7～ 27. 3. 31	2.06	北塩原村大塩地区 広葉樹の植栽等
8	みずほフィナンシャル グループ	下大越共有山林組合 いわき市 福島県知事	25. 4. 24	25. 4. 24～ 31. 3. 31	2.27	いわき市平下大越地区 クロマツ植栽等
9	陸奥テック コンサルタント(株)	南会津町 福島県南会津農林事務所	26. 5. 1	26. 5. 1～ 31. 3. 31	3.00	南会津町八総地区 地植え、広葉樹の植栽等
10	楽天(株)	森林所有者代表 相馬市 福島県知事	26.12.26	26.12.26～ 29. 3. 31	7.80	相馬市山上地区 森林整備
11	株東芝	福島市 福島県北森林組合 福島県知事	27. 9. 25	27. 9. 25～ 30. 3. 31	5.03	福島市佐原地区 森林整備
12	株東邦銀行	いわき市 福島県知事	27.10. 1	27.10. 1～ 29. 3. 31	0.784	いわき市常磐湯本町 日渡地内 広葉樹の植栽等

※No.4とNo.9以外は全て、県の協定締結者は知事



下刈り作業前に手鎌の使い方について指導を受けるみずほファイナンシャルの参加者



熱心の下刈り作業に取り組む参加者

設定した企業の森林（「みずほ」の森）において、下大越共有山林組合（森林所有者）、いわき市、福島県と締結している企業の森林づくり協定書の活動計画に基づき実施した、森林の保育作業（下刈り）を支援しました。

当日は、台風九号の影響で突然雨が降るなど不安定な天候の中での作業となりました。

業となりました。

みずほフィナンシャルの参加者は、東京駅や仙台駅から東北新幹線を利用して郡山駅に集合し、郡山駅から借上げ大型バス二台で現地入りし、今回の参加者は、みずほファイナンシャル社員七〇名と協定締結者のいわき市、福島県、下大越共有山林組合、当協会の十九名の総勢八九名が参加しました。

下刈り作業に先立ち、みずほフィナンシャルのCSR推進室東北復興デスク土井調査役から開会のあいさつと作業上の注意について説明があ



みずほファイナンシャルグループの担当責任者の説明を受ける参加者

り、参加者は各班に分かれ班のリーダーの指導のもと下刈りに汗を流しました。蒸し暑い中での作業となりましたが、全員が黙々と一生懸命に作業に取り組む姿が印象に残りました。

作業が終了する頃になって大雨となったため、予定していた参加者全員の記念写真撮影は行うことはできませんでしたが、バスの車内で閉会式を行い、来年の再会を約束して解散となりました。

平成二二年度からスタートした「企業の森林づくり」は、現在までに十二件の協定が締結されていますが、さらに本県の豊かな森林を保全するためにも、社会貢献活動に関心の高い多くの企業が森林づくり活動にご参加くださいますようお願いいたします。

東北・北海道ブロック 平成28年度林業グループコンクールに参加して ～ 館岩地区林業振興協議会が第1位となり全国大会へ～

福島県南会津農林事務所 佐藤 宗一

青森県青森市大字浅虫にある「海扇閣」を会場として、東北・北海道ブロック林業グループコンクールが9月1日から2日にかけて開催されました。

当県からは、県林研グループ連絡協議会会長の豊田新一氏及び発表を行う館岩地区林業振興協議会からは鈴木秀明さん、阿久津啓子さん、星孝子さんが参加されました。

初日の9月1日は、林業グループコンクール及び意見交換会が行われました。

コンクールには、各道県から7件（うち参考発表1件）の事例発表があり、館岩地区林業振興協議会は2番



阿久津啓子さん、星孝子さんの
お二人による発表状況



参加者の記念写真

目に、阿久津啓子さん、星孝子さんのお二人で発表を行いました。発表終了後に、「世界自然遺産白神山」と題して東青もりづくり会の榎引秀雄氏の講演があり、続けて、各団体の発表に対する審査報告及び講評、表彰が行われました。当県の館岩地区林業振興協議会の発表は活動内容のみならず発表での話し方が特に優秀であると評され、第1位として

来年2月に開催される全国林業グループコンクールに推薦が決定されました。

発表内容は、自然環境や森林の大切さに共感をもっている地元女性8人により平成27年度に設立された「女性部」の活動報告です。活動は緑多い地区に生まれ育っても普段の生活ではふれあう機会が少なくなっている森林や森林文化にふれる場・機会を作ることを目的として、幼稚園児を対象として生まれ育った地元の山々の豊かさ、森林の恵み、森林の大切さを心で感じられるような様々な活動を行っています。また、この活動を通じて園児と共に活動に参加する保護者等が地域の自然環境や林業に関心を持つことで地域林業の次世代の後継者と後継者の予備軍となることを期待し、育成することも目的としており、今年度も積極的に活動を行っています。

2日目は、眺望山穴川沢ヒバ成長量試験地と青森市森林博物館の視察が行われました。

眺望山穴川沢ヒバ成長量試験地は、天然青森ヒバ（俗称、和名は、ヒノキアスナロ）の択伐成長量試験地等があり、青森ヒバ択伐林への誘導



現地研修状況



青森ヒバ（択伐対象木）



青森市森林博物館（正面から撮影）

を目的として施業を繰り返し、林分構成の変化、成長の過程を明らかにするとともに、生産性が高く、収穫の永続的な施業を作る目的で設定されるなど、地域に根ざした施業に対する各種試験が行われています。

また、青森市の森林博物館は青森特産のヒバに関する資料や森林鉄道の資料などが数多く展示されており、福島とは異なる林業技術に見るものが多い視察となりました。

講習のカリキュラム

1日目 (8/22)	オリエンテーション
	林業の基礎知識（林業と山村地域の現状） 〃（主な林業樹種とその特性などの森林生態）
	〃（木材の育成作業と森林の管理方法）
	〃（森林の有する多面的機能の発揮と健全な発展について）
2日目 (8/23)	安全衛生に関する知識（労働災害の現状と対策） 林業作業の体験（チェーンソー作業の見学）
	〃（高性能林業機械の見学） 〃（除伐作業・丸太切り作業体験）
3日目 (8/24)	木材利用施設の見学（福島県買取型復興公営住宅） 林業職場の見学（製材・集成材工場施設）
4日目 (8/25)	講演「林業就業を志すために必要なこと」 林業への就業・生活相談、林業就業者との懇談 講習の総括・修了者証の交付・アンケート記入

郡山市の「ビッグパレットふくしま」において、「林業の基礎知識」や

◎一日目
参加者は、林業就業を目指す方で、県外から四名、県内から四名の八名（女性一名）の参加がありました。


◎二日目
この講習は、厚生労働省委託事業で、今回は八月二二日から二五日までの四日間で開催しました。（詳しくは「林業就業ナビ」で検索）

◎三日目
午後、東白川郡塙町で（有）真名畑林業の協力を頂いて、チェーンソー伐倒作業と高性能林業機械（プロセッサ、フェラバンチャー等）による伐木造材作業を見学しました。午後は、東白川郡鮫川村の県行造

福島県林業労働力確保支援センター日より

林業就業を目指す 森林男子 森林女子へ！

「林業就業支援講習in福島」を開催



4日目就業相談等



3日目 WOOD.ALC見学



2日目 チェーンソー伐倒作業見学



3日目 集成材工場見学



2日目 のこぎりでの丸太切体験

「労働安全衛生に関する知識」の講義を行いました。

◎二日目
午前は、東白川郡塙町で（有）真名畑林業の協力を頂いて、チェーンソー伐倒作業と高性能林業機械（プロセッサ、フェラバンチャー等）による伐木造材作業を見学しました。午後は、東白川郡鮫川村の県行造

「ビッグパレットふくしま」において、「林業就業を志すために必要なこと」と題し、昨年度まで当支援センターの「緑の雇用」現場技能者育成事業の指導監督検査を行っていた五十嵐保雄氏に「林業就業者にとって必要なこと」として「林業技術の習得、計画性を持つ、協調性を持つ、安全の確保、謙虚さを忘れない」とことを挙げ、心がけてほしいこととして「報告・連絡・相談+挨拶」と話されたほか、「緑の雇用」の研修生や事業主等のコメントの紹介、本県林業に関する最近の新聞報道などについてお話しをいただきました。

午後からは、受講生一人一人から、生活や就業に関する相談を受

林地をお借りして、県南農林事務所の指導のもと、のこぎりでの除伐作業・丸太切り作業を体験しました。

◎三日目
午前、藤田建設工業（株）が、二本松市油井石倉団地に建築している福島県買取型復興公営住宅を見学しました。WOOD.ALC建築による「木肌による和らぎ感のある外観」などの特徴、工法採用による工期短縮や工事費の抑制、国産木材を大量に使用し、地域の業者で建築可能なこととの優位性等の説明を受けました。

午後、東白川郡塙町の協和木材（株）の製材工場、集成材工場を見学しました。休み無く運ばれる原木は年間消費量三〇万立方メートルで二四時間稼働の国産材最大規模のメーカーの迫力に圧倒されました。

◎四日目

午後、東白川郡塙町の協和木材（株）の製材工場、集成材工場を見学しました。休み無く運ばれる原木は年間消費量三〇万立方メートルで二四時間稼働の国産材最大規模のメーカーの迫力に圧倒されました。

◎四日目
「ビッグパレットふくしま」において、「林業就業を志すために必要なこと」と題し、昨年度まで当支援センターの「緑の雇用」現場技能者育成事業の指導監督検査を行っていた五十嵐保雄氏に「林業就業者にとって必要なこと」として「林業技術の習得、計画性を持つ、協調性を持つ、安全の確保、謙虚さを忘れない」とことを挙げ、心がけてほしいこととして「報告・連絡・相談+挨拶」と話されたほか、「緑の雇用」の研修生や事業主等のコメントの紹介、本県林業に関する最近の新聞報道などについてお話しをいただきました。

午後からは、受講生一人一人から、生活や就業に関する相談を受

け、住宅情報や求人情報、林業事業体の情報などを提供したほか、「緑の雇用」三年目の研修生である（有）ウッッド福生の菊池優子さんにも相談に加わっていただきました。

全ての講習修了後、全国森林組合連合会長名の修了証を交付しました。

◎修了者のアンケートから
回答の中で、「受講した感想は」では、「大変良かった」が四名、「まあ良かった」は三名、「少し不満」が一名でした。受講してみても林業就業への気持ちについては、「すぐにも就職したい」四名、「選択肢のひとつ」が四名でした。感想として、「林業に対する気持ちが高まった」「悩むよりやってみようと思っ受講して良かった」「山での実地講習から製材工場まで全体像を見学できた」などでした。二〇日間講習を受講したのかの間では七名に「受講したい」と答えていただきました。

◎おわりに
今回の講習では、林業事業者、県建設会社、製材工場等の皆様のご協力により、林業への就業を志す受講生への実り多い講習ができました。この場を借りて御礼申し上げます。

午後、東白川郡塙町の協和木材（株）の製材工場、集成材工場を見学しました。休み無く運ばれる原木は年間消費量三〇万立方メートルで二四時間稼働の国産材最大規模のメーカーの迫力に圧倒されました。

◎四日目
「ビッグパレットふくしま」において、「林業就業を志すために必要なこと」と題し、昨年度まで当支援センターの「緑の雇用」現場技能者育成事業の指導監督検査を行っていた五十嵐保雄氏に「林業就業者にとって必要なこと」として「林業技術の習得、計画性を持つ、協調性を持つ、安全の確保、謙虚さを忘れない」とことを挙げ、心がけてほしいこととして「報告・連絡・相談+挨拶」と話されたほか、「緑の雇用」の研修生や事業主等のコメントの紹介、本県林業に関する最近の新聞報道などについてお話しをいただきました。

午後からは、受講生一人一人から、生活や就業に関する相談を受

講習修了後、全国森林組合連合会長名の修了証を交付しました。

◎修了者のアンケートから
回答の中で、「受講した感想は」では、「大変良かった」が四名、「まあ良かった」は三名、「少し不満」が一名でした。受講してみても林業就業への気持ちについては、「すぐにも就職したい」四名、「選択肢のひとつ」が四名でした。感想として、「林業に対する気持ちが高まった」「悩むよりやってみようと思っ受講して良かった」「山での実地講習から製材工場まで全体像を見学できた」などでした。二〇日間講習を受講したのかの間では七名に「受講したい」と答えていただきました。

◎おわりに
今回の講習では、林業事業者、県建設会社、製材工場等の皆様のご協力により、林業への就業を志す受講生への実り多い講習ができました。この場を借りて御礼申し上げます。



4日目 受講生・関係者記念写真



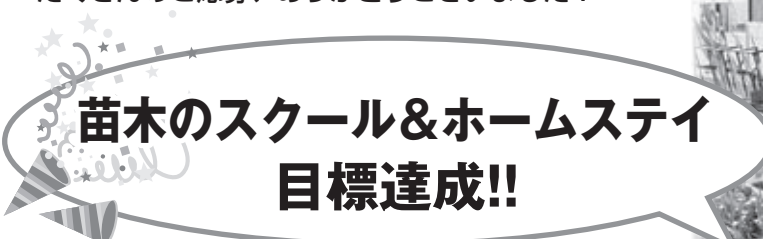
福島県全国植樹祭推進室

第69回全国植樹祭では、大会会場（南相馬市雫地内）において県内外の招待者に3万本の植樹を行っていただきます。

その苗木の約半分を県民ボランティアによる「苗木のスクールステイ・ホームステイ」として、育てていただく取組を進めています。

1万5千本の苗木育成ボランティアを募集したところ、小学生・家庭・企業の皆さんから1万6千本の応募がありました。

たくさんのご応募、ありがとうございました！



今後、申し込みされた方々に、苗木をお配りし、大会開催の平成30年まで大切に育てていただきます。
みなさんよろしくお祈りします。

～ 大会への支援の輪が広がっています！～

南相馬市のバス運行会社「東北アクセス㈱」は、大会PRの協力のため、大会ロゴマークのラッピングバスを6台導入していただきました。

ピカピカのバスにカラフルな大会ロゴマーク。第1号のお客さんは、南相馬市立青葉幼稚園の子どもたち。全国植樹祭のグッズ（缶バッジ）を受け取り、大喜びでした。



8月23日、
県南相馬合同庁舎において、
東北アクセス㈱遠藤社長から
小野福島県農林水産部長に
広報協賛の目録贈呈が
ありました。

ラッピングバスは、
南相馬～福島間と、
南相馬～仙台間の
路線バスでも
運行されます。



会津西部地区における 木材利用の促進

会津農林事務所

林業普及指導員 眞壁晴美

会津農林事務所管内の西部地区（西会津町、柳津町、三島町、金山町、昭和村）は、総土地面積の9割以上を森林が占め、民有人工林の約5割、天然林の約8割がX齢級以上となっており、森林資源の本格的な利用が可能な段階を迎えています。しかし、当地区は市場から遠く立地的に不利な条件にあることから、ほとんどの地域で搬出間伐が進んでおらず、以前から豊富な森林資源の有効活用策について、地区内の市町村が連携して検討を行ってきました。

一方、会津流域林業活性化センターでは、平成26年度より構成団体の実務者からなるワーキンググループで今後の活動方針を協議し、平成27年10月にその検討結果を取りまとめました。その内容は、「森づくり」（森林施業の低コスト化技術の検証・普及等）、「人づくり」（地域における林業技術者、人材の育成）、「産地づくり」（会津産材の流通体制整備、公共建築物等への利用促進等）を3本柱として事業展開し、特に、構成員からの要望が強い「産地づくり」を重点的に取り組んでいこうというものです。

このような背景から、当事務所では活性化センターと連携して、産地づくりの拠点となる木材集荷場の1つを西部地区に設置することで、地域材の流通を促進し、地域活性化に結び付けていこうと考えました。

平成28年8月9日に、関係市町村、林業事業者等で構成する会津西部地域材流通管理運営会議を立ち上げ、当事務所から地区内の森林林業の現状について説明し、今後の取り組み方針について協議しました。そして、9月には会津地方森林組合林業振興協議会（構成員；会津若松地方森林組合、西会津町森林組合、会津北部森林組合）が主体となって、三島町に木材集荷場を開設し、今年度は10月～12月に月1回、木材市を開催する計画で準備が進められています。この取組は、地区の森林所有者等に随時お知らせすることとしており、地域材の動きを間近で見て現在の素材価格を知っていただき、森林整備や木材利用への理解を深めていただくと考えています。

また、当地区の森林経営計画認定率（※）は9%（会津流域平均は17%）と低い状況にあります。そこで、今後は、搬出間伐等の推進に向けて森林経営計画策定を促進するため、市町村担当者を対象とした勉強会の開催や森林施業プランナーの育成支援等を行っていく予定です。

これらの取り組みはまだまだ始まったばかりですが、今後も関係機関・団体と連携して会津西部地区における木材利用の機運を盛り上げていくとともに、他地域へもこの取組を普及していきたいと考えています。

※森林経営計画認定率＝森林経営計画受委託面積／地域森林計画対象森林面積×100



会津西部地域材流通管理運営会議



木材集荷場（三島町）

森林管理署メロ

南会津地域の 森林管理



会津森林管理署南会津支署は、南会津町山口（旧南郷村）に所在し、只見町、南会津町（旧田島町を除く地域）、檜枝岐村の三町村を管轄しています。管轄面積は一〇九、三八九畝と関東森林管理局の中でも最大です。当支署は平成十一年二月までは山口営林署と名乗っていました。市町村名でもない地名が営林署の名前として使われていた例（旧山口村は明治時代の合併により廃止）として全国的にも珍しく、来訪者の方々にもちよつとした話題としてお話ししているところですよ。

当支署管内の特徴はなんとと言ってもブナを中心とした豊富な天然林であり、尾瀬をはじめとした地域の観光資源としての顔があります。その反面、約一―一万畝のうちそのほとんどが森林生態系保護地域あるいは緑の回廊に設定されているため木材生産の余地は非常に小さく、他の森林管理署等と比べても非常に少なくなっています（平成二八年度予定量：約二、〇〇〇立方メートル）。過去には広葉樹を含め木材生産が盛んな時期がありましたが、今では「自然の推移に委ねる」形が天然林管理の基本となっています。個人的には、自然に委ねていけばそれでいいのかもしれないという思いもあり、一部民間の方からは広葉樹材の供給を望む声もあるのですが、「自然のあるがままに存在させること」は「国だからこそできること」でもありますし、日々仕事をし、地域で暮らしていく中で実はそれは非常に豊かなことだという思いが強くなっているところですよ。



だいらスキー場のサテライト市

加え、当支署では南会津農林事務所と連携し、年に数回、南会津町のだいらスキー場において開催されているサテライト市に対し、量は少ないですが木材を供給しています。取組としてはまだまだ改善の余地はあるかもわかりませんが、少しでも地域へ貢献していくことが重要と考えているところですよ。

また、最近では尾瀬においてもシカが目立つようになりました。今後当支署管内でも徐々に主伐が増えていく中でその存在は再造林への脅威でもあるのですが、何よりも、尾瀬の高山植物等の食害が一番の問題です。このことから、地元檜枝岐村が



シカ柵

らの要望もあり、大江湿原に咲くニッコウキスゲの保護を目的に平成二五年からシカ柵を設置し、環境省とも連携しながら

シカの動向を注視しています。しかしこれらはいわば適応であり緩和ではありません。二才になれば子を産み、恐ろしい勢いで増殖するシカ対策は、個体数管理なくしては対処できません。本局からのアドバイスもあり、本年から当支署としても地元館岩猟友会と連携して、シカの捕獲への取組を始めました。夏に日光側から避暑に？訪れ、冬になると帰って行くところが、昨今は昨年の少雪等もあり南会津に居を構えるシカが増えたのではないかと危惧しています。アニメやCMでかわいイメーজが先行しているため、この現状が国民全体になかなか伝わりづらいところですが、我々としても根気強く取り組み、生物多様性の保全、そして人間と自然との共生の在り方を模索していきたいと思えます。

団体のページ

■住宅における県産木材の使用量の基準

延べ面積	使用する 県産木材の量
80㎡未満	4 m ³
80㎡以上95㎡未満	5 m ³
95㎡以上110㎡未満	6 m ³
110㎡以上125㎡未満	7 m ³
125㎡以上	8 m ³

1. 事業の内容
 (1) 交付要件
 ◎県内に自ら居住するための木造住宅であること。

県産木材を一定量使用して建設した住宅に、「商品交換ポイント」を付与する「ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業」の申請受付が今年度も七月一日から始まりました。

木連だより

住宅の新築や増改築などを
 検討されている方へ
 『ふくしまの未来を育む森と
 住まいのポイント事業』



- (2) ◎施工者の主たる営業所は県内にあ
ること。
 ◎平成二八年四月一日以降に完成し
ている住宅であること。
 ◎主要構造材(柱・梁・桁・土台)
及び間柱(厚さ二七ミリ以上)に
おいて、上表に定める量以上の県
産木材を使用している住宅である
こと。
 (木杭を用いて地盤補強を行う場
合は、木杭を含む。)
- (3) ◎棟
ポイント発行申請は、木造住宅建
設等完了後に受け付けます。
 なお、ポイント発行総数が予算枠
に達した場合は、上記の申請期間で
も受付を終了します。
- (4) ◎申請方法
 ◎所定の申請書を作成し、窓口に提
出してください。
 ▼以下の窓口に郵送または持参によ
り提出してください。
- (5) ◎福島県土木部建築指導課ホーム
ページ
 福島県トップページから「ふくし
まの未来を育むポイント」で検索。
 交換商品
 ◎県産品(農林水産品・加工食品・
木材製品・工芸品・その他)
 福島県産の米、野菜、肉、魚・麵
類・菓子・飲料・酒類・調味料・
家具・木工品・家電製品など
 ◎商品券(全国型・地域型)
 日本全国で使用できる旅行券・お
食事券・お花券・すし券・お米券・
地域限定で使用できる商品券など
 (商品券との交換は、交付ポイン
トの五〇割が上限となります。)
- (6) お問い合わせ窓口
 ◎福島県木材協同組合連合会
 電話〇二四一五二二一七五二八
 ◎福島県土木部建築指導課
 電話〇二四一五二二一三三〇七
 ◎県の建設事務所
 (担当窓口は建築住宅課となります)
 [県北] 〇二四一五二二一九三五八
 [県中] 〇二四一九三五一一四六三
 [県南] 〇二四八一一三一六三六

福島県木材協同組合連合会
 〒九六〇一八〇四三
 福島市中町五一十八(林業会館二階)
 電話 〇二四一五二二一三三〇七
 E-mail: info@fmokuren.jp

(4) 申請用紙の入手方法
 ① ホームページからダウンロード
 ◎ 福島県木材協同組合連合会ホ
ムページ
<http://www.fmokuren.jp/>
 福島県木連 検索

28ポイント発行状況 (7方部)

(平成28年8月末日)

方部	合計		一般 (20万)		被災者 (30万)	
	件数	ポイント(千)	件数	ポイント(千)	件数	ポイント(千)
県北	11	2,400	9	1,800	2	600
県中	12	2,600	10	2,000	2	600
県南	12	2,400	12	2,400	—	—
会津	4	800	4	800	—	—
南会津	—	—	—	—	—	—
相双	5	1,400	1	200	4	1,200
いわき	7	1,700	4	800	3	900
総計	51	11,300	40	8,000	11	3,300
予算額		40,000				
発行率		28%				
残り	143	28,700				

2. 現在(八月末)までの発行状況
 これまで、交付要件は、四月一日以
降着工でしたが、緩和され、四月一日
以降の完成となりました。このため、
例年よりはやく予算が消化されていま
す。昨年同時期の交付件数は七件でし
たが、今年度は五一件です。ポイント
交付を希望の方は早めの申請をお勧め
します。

[会津若松] 〇二四二一一五九一五四六一
 [喜多方] 〇二四一一四一五七二七
 [南会津] 〇二四一一六一一五三七
 [相双] 〇二四四一六二二二三
 [いわき] 〇二四六一四一六三三四

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 19 |

古町の大イチョウ

樹木医 鈴木俊行

「古町の大イチョウ」は、南会津郡南会津町古町居平十一―六地内の旧伊南小学校の校庭に生育している。生育地は、南会津町田島の中心街から国道二八九号を南郷方面へ、さらに国道四〇一号を伊南方面に向い、車で約四〇分の場所、南会津町伊南総合支所から約二〇〇メートル北側の旧伊南小学校校庭の南端にある。



本樹は、旧伊南村の中心街に近づいてくると遠くからでも目立ち、特に紅葉時期は際立ち、町のシンボリック存在となつている。本樹にまつわる伝説として、建久年間（一一九〇―一一九九年）会津四家の一人、久川城主初代河原田成光が東館、西館を築いてここに重臣を住ませ、その時に植えた庭樹と言ひ伝えられている。また、十一代盛次の時に馬場安房が居住したので、馬場屋敷と呼ばれている。本樹には多くの乳根が発生していることから昔は「母乳の神」として信仰され、地域はもとより遠く上州や越後からも参拝者が多く訪れた。さらに、本樹の枝葉等を不潔な場所に捨てると凶事があるとされてきた。また落葉の時期で降雪量を占う風習

が残るなど、昔から大切に守られ尊敬されてきた巨樹である。



敬されてきた巨樹である。

本樹の樹種は、イチョウ科イチョウ属のイチョウ (*Ginkgo biloba*) である。イチョウは全国で普通に見られる樹木だが、分類上は奇異な位置にあり、広葉樹・針葉樹の区分ではいかにも広葉樹に該当しそうだが、むしろ特殊な針葉樹にあたる。原産は中国で、生きている化石といわれ、仏教寺院などに盛んに植えられ、日本にも薬種として伝来したと言われているが、年代には諸説ある。

本樹の形状寸法は、高さ二六・〇メートル、幹周一一・二〇メートル、根元周一四・五〇メートルの巨樹で、推定樹齢は八〇〇年と言われている。また、昭和二八年十月一日に県指定天然記念物、昭和五八年二月十七日に県緑の文化財に登録されている。

枝張り、東七・六〇メートル、西一〇・七〇メートル、南九・三〇メートル、北八・一〇メートルと大きい。樹形は先端がやや丸く

なつた円錐形で、雪や風での枝折れなどにより樹冠の欠損もあるが、見事な圧倒される樹形をしている。主幹には外科的治療が行われた跡があるが、昭和五七年度に樹勢の衰退が見られたことから、土壌改良施肥や主幹空洞部覆冠、根系保護柵、枯枝切除などの治療が行われた。その後治療等は行われていないが、地域住民により大切に育成管理されている。

今年の春は、イチョウの樹にサクラが咲いたと話題になつた本樹であるが、枝の腐朽部に着生したオオヤマザクラが咲いたものである。黄色に彩づく紅葉の季節は本樹が最も際立つ季節で、金色の絨毯を敷きつめた中にどっしりと立つ姿はまさに見事の一言である。近年は紅葉期にライトアップされているので、ぜひ県内を代表するイチョウの巨樹に会いに行つてみてはいかがだろうか。



木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(7月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)		10 (9~10)	0	9 (8~10)	0	
		10~14	4.00	並	スギ	10 (10~11)	△1	(0~0)		12 (11~13)	0	11 (10~13)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	12 (12~13)	1	9 (9~9)	△1	13 (12~14)	1	12 (9~14)	1
			並	ヒノキ	12 (11~12)	0	(0~0)		16 (15~17)	0	14 (11~17)	0	
		6.00	並	スギ	15 (14~17)	0	10 (10~10)	0	16 (15~16)	0	15 (10~17)	0	
			並	ヒノキ	28 (24~32)	0	(0~0)		20 (17~23)	0	24 (17~32)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	10 (9~12)	0	9 (9~10)	△1	12 (11~13)	0	10 (9~13)	△1	
		4.00	並		10 (10~11)	0	(0~0)		12 (11~14)	0	11 (10~14)	0	
		4.00	並	アカマツ	9 (8~11)	0	(0~0)		9 (8~11)	0	9 (8~11)	0	
		1.80	並		6 (5~6)	△1	(0~0)		7 (7~8)	△2	6 (5~8)	△2	
	外	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		29 (28~29)	0	29 (28~29)	0
			並	米マツ	32 (32~32)	0	30 (30~30)	△1	29 (29~29)	0	30 (29~32)	0	
28以下		3.80	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		28 (27~28)	0	28 (27~28)	0	
		4.00	並	ベニマツ	(0~0)		(0~0)		34 (27~40)	0	34 (27~40)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	6 (6~6)	0	(0~0)		5 (5~5)	0	6 (5~6)	0	
			並	広葉樹	8 (8~8)	0	(0~0)		7 (7~7)	1	7 (7~8)	0	

六月の原木市場への入荷状況は、前月比二一割増(前年比七割減)の二二、七四八立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比二九割増(前年比二割増)の二四、七二一立方メートルとなっている。
 七月の価格については保合いとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~8)	0	7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	10 (9~11)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	13 (12~14)	0	10 (9~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

野生動物の専門病院として大玉村に設置されていた福島県鳥獣保護センターが、今年四月から同敷地内に福島県野生動物共生センターとして生まれ変わりました。
 野生動物共生センターは、環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点として三春町に開設された福島県環境創造センターの附属施設であり、これまで鳥獣保護センターが行ってきた野生動物の救護や野生復帰、野生動物の保護管理に加えて、新たに放射性物質が野生動物に与える影響を調査、分析するとともに、環境教育にも取り組み、生物多様性保全の意識醸成の更なる充実と、安心して暮らせる環境の創造を目指しています。
 施設内には、ツキノワグマやタヌキ、フクロウなどの剥製標本が展示され、見るだけでなく実際に触ることもでき、普段触れることのできない野生動物の毛や羽根の感触を楽しむことができます。



野生動物共生センター誕生!

県北農林事務所 伊藤 正一

また、野生復帰のための飼育スペースには、ハヤブサなどの猛禽類が放鳥されており、円形の観察窓から復帰訓練中の姿を見ることができ、ほかに、県内の動物の生態や里山の現状を紹介する映像の放映や、野生動物に関するQAパネルの展示など、学びの場としても活用できる施設となっています。

開館時間は、午前九時から午後五時まで(月曜休館)、施設内は自由に見学・閲覧することができますので、ぜひ皆さん足を運んでみてください。



飼育スペースのハヤブサ

表紙の写真



「引き合い」

第12回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選を受賞した田崎栄一さん（柳津町）の作品。
撮影場所：柳津町安久津地内

発行人
相馬 陽光社印

馬 雅 株 式 会 社
（定価 一〇八円）

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

はなしの
ひろば

それぞれの秋

十月の空を見上げると思い出すひとこまがある。当時まだ三歳だった息子は、秋の青空に流れる雲を見上げ「とまれ〜。敬礼！雲が流れていきま〜す」と散歩途中に立ち止まり、流れゆく雲に敬礼をしていた。その一言に驚いて一緒に見上げた空のなんと深い青、そして、ゆつたり流れていく一筋の白い雲。

あたりまえの十月の光景なのに、こどもの感性にふれると、それはあたりまえのことではなく、神様のプレゼントを喜んで受けているようにも見えた。今でも、あの時空を見上げた息子の目の輝きは忘れられない。そして、その姿を傍らで眺めていた私は「あたりまえ」の既成概念に捉われていたことを思い知らされたのである。

あれから二六年が経ち、息子は六月に結婚をした。ここまでこどもを育ててきたのか、はたまたここまで自分が親として育てられてきたのか…。いずれにしても自分の人生にとっても節目となった。

「秋の季節の色」は、陰陽五行説に由来すると「白」で表現され、秋の異称が「白秋」となった。生涯においても人間的に落ち着きと深みのである年代、特に中年期をさすらしい。

十月に入ると、空も風も光も、秋は落ち着きをみせてきた。私も、ひと段落した自分の人生の白い余白に、じつくりと思いを深めていく秋にしようか…。木々の葉も、紅葉の準備へと入っている。読書の秋、行楽の秋、食欲の秋等々、自然も人もそれぞれの秋。そして、それぞれの思い。（都）

お知らせコーナー

第14回うつくしま育樹祭 参加者募集

～ 第69回全国植樹祭連携イベント～

県民の皆様にも、緑や森林とふれあう大切さを感じていただくために、森林の手入れや体験・交流のイベントを行います。ご家族皆様までご参加ください。

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1. 期 日
平成28年11月12日(土)</p> <p>2. 場 所
白河市東釜子「東風の台運動公園」</p> <p>3. 募集人数
300名</p> <p>4. 申込締切
平成28年10月31日(月)</p> | <p>5. 活動内容
・育樹活動
・交流イベント(次のいずれかを選択)
①クリスマスツリーオブジェづくり・自然観察
②薪割り・鋸目立て実演
※丸太切り体験(自由参加)コーナーも用意</p> | <p>6. お問い合わせ先
うつくしま育樹祭実行委員会事務局
((公社)福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局)
(TEL 024-524-1480)
(FAX 024-521-3246)</p> |
|---|--|--|

林業女子会イベント 参加者募集

～ 秋の森散策と森の香りのアロマセラピー～

森や木、自然や林業などに興味をお持ちの女性に向けて、秋の森を歩いて、体験して、身近な自然に触れあいながら、森やアロマを学ぶイベントを開催します。

- | | |
|--|---|
| <p>1 期 日
平成28年10月29日(土)</p> <p>2 場 所
安達郡大玉村「フォレストパークあだたら」</p> <p>3 イベントの内容
・もりの案内人と一緒に秋の森散策
・森の香りのアロマセラピー
ミニ蒸留体験
オリジナルスプレー作り
クロモジペンダント作り</p> | <p>4 募集人数
30名(先着順)</p> <p>5 申込期限
平成28年10月20日(木)(必着)</p> <p>6 申込方法
所定の参加申込書の送付又はお問い合わせ先へ連絡</p> <p>7 お問い合わせ先
福島県林業女子会(仮称)設立準備会 事務局
(公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会(林業労働力確保支援センター))
(TEL 024-521-3270) (FAX 024-521-3246)</p> |
|--|---|

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒963-8052 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

<p>野生獣類から大切な植栽木を守る</p> <p>ヤシマレント</p> <hr/> <p>ヤマビル対策に</p> <p>マリックスター(駆除剤)</p>	<p>蜂さされ防止</p> <p>ハチノックL(巣退治) ハチノックS(携帯用)</p> <hr/> <p>タケを駆除する</p> <p>クロレートS</p>	<p>大切な日本の松を守る 住化グリーン®の林業薬剤</p> <p>ヤシマスミバイン乳剤 ヤシマスミバインMC グリーンガードNEO パークサイドF ヤシマNCS モリエートマイクロカプセル マツグリーン液剤2 マッケンジー</p>	<p>くん蒸用生分解性シート</p> <p>与作シート(茶・白) (折りたたみ式 専用キャリーバック使用)</p> <hr/> <p>竹・ササの防除に</p> <p>クロレートS粒剤</p> <hr/> <p>アメシロなどの害虫防除殺虫剤</p> <p>打ち込み上手</p>
---	---	---	--



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

<p>チッパシュレッダ</p>  <p>竹もOK! SR3100 出力 18.4kW (質量1,330kg) 水冷ディーゼル 967634301 ¥3,580,000(税抜)</p>	<p>ハンマナイフモア</p>  <p>ZHM1550 出力 27.5kW (質量1600kg) 967081901 ¥5,860,000(税抜)</p>	 <p>ZHM800 出力 7.4kW (質量230kg) 967088901 ¥748,000(税抜)</p>
--	--	--

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1